

令和7年度 竜爪中学校区小中一貫教育構想

【竜爪中学校区の学校教育目標（9年間で育成を目指す子どもの姿）】

高め合う仲間【視点1】

友だちとかかわり、本気で挑戦する子



【子どもや地域の実態】

- 明るく素直な子どもが多い。
- 異学年でも仲良くできる。
- 外遊びや運動が好きである。
- △学習習慣の定着に課題が残る。
- ◎教育に対する関心が高く、地域全体で子どもたちを育成しようという風土がある。

竜爪中

【重点目標】 竜爪プライド

- (生活) すすんであいさつしよう
- (学習) しっかり聴きとり伝えよう
- (特活) 本気で挑戦しよう

西奈小

【軸となる取組】

ふるさと教育の推進

- ・ふるさとを学ぶ
- ・ふるさとで学ぶ
- ・ふるさに学ぶ

北沼上小

【重点目標】

思いを行動に ～やってみよう 認め合おう～

【重点目標】

みんなで喜びをつくり出す子

竜爪中学校区ならではの小中一貫教育カリキュラム【視点2】

【9年間を見通した年間指導計画編成】 【小中一貫教育課程表に基づいた評価】

生活指導部

自分の生活をより良く しようと考える子

- ・学校のきまりや校則について検討することで、様々な考え方や価値観に触れ、視野を広げる。
- ・小学生が中学校の校則や決まりごとを知る機会を設け、小中間のギャップをなくす。

健康教育部

自分の健康について進んで考える子

- ・メディアコントロールデーを設定し、メディアとの付き合い方を見直すことで、生活リズムを整える機会とする。
- ・レジリエンスを高め、ストレスに対して心をマネジメントする力を伸ばす。

学習指導部

仲間と共に学び合う子

- ・学びの基盤となる学習スキル表を活用し、系統的な「話す」「聴く」「かく」力を育成する。
- ・視覚的に印象づけるピクトグラムや学習課題の提示により、学習内容を自分で理解し、主体的に学ぼうとする姿勢を身に付ける。

特別活動部

相手のために自分から すすんで動ける子

- ・「だ」「い」「じ」のスローガンをういたあいさつ活動、清掃活動を推進する。
- ・児童会と生徒会との交流を通して、小中学校の特別活動の取り組みを子ども同士で共有する。

教職員の協働・児童生徒の交流【視点3】

- グループ校研修の企画・運営
 - ・研修の企画、運営
 - ・各部の調整
 - ・事務処理の連携

- 児童生徒の交流の実施
 - ・小小交流、小中交流の実施
 - ・行事の合同実施
 - ・授業、部活動体験

地域との連携【視点4】

- コミュニティスクール始動
 - ・育てたい子ども像の共有
 - ・学校運営協議会での意見交流

- 地域と進める教育活動
 - ・学校ボランティアの募集と運営
 - ・地域防災への参画
 - ・小中一貫教育の推進・支援